

サミット開催 機運もりあげる



ヨットレースで サミットを応援

6月7日、8日の両日、北海道洞爺湖サミットウェルカムレースサミットセーリング交流会（北海道セーリング連盟、洞爺湖町など主催）が行われ、50艇を越すヨットなどが、風を



風を味方に疾走するヨットレース

背に疾走し、サミット開催への機運を盛り上げました。

レースは、小学生から団体選手クラスまで、オープン、シーホッパーSRなど4クラスに分かれて、洞爺湖沖合いにブイで作られた3角形を回るレース。

まさに環境がテーマのサミットにふさわしく、緩やかな風を利用するヨットレースは、見ているほうも心地よくさせました。夜には、歓迎パーティも開かれ、振舞われた地元の農産物や魚介類に、選手らは舌鼓を打っていました。

環境について楽しく学ぶ



6月1日「OMOIYARI エコフエスタ in 洞爺湖」が洞爺湖文化センターで開かれました。

サミット開催を機に「楽しく環境について学ぼう」と洞爺青年会議所や日本青年会議所北海道地区協議会などが呼びかけて実施。

ムツゴロウさんの愛称で親し



ユーモアあふれるムツゴロウさん(右)の講演会

まれている畑正憲さんの講演を始め、エコクイズや燃料電池車の試乗会などエコ一色のイベントに、来場者は、環境問題を再認識していました。

環境にやさしい 省エネライト交換

6月3日役場ロビーの照明が、省エネの最新式照明ダウンライトに取り替えられました。

これは、函館の加藤組土建が、「環境が主要なテーマとなるサミット開催地の当町に」と9基のダウンライトを寄贈してくれたもの。

同ライトは、発光ダイオードが光源で、以前設置されていたものと比べて20%の消費電力ですむそうです。



ロビーのライトを交換